

23歳で夭逝した永遠のスター
リヴァー・フェニックス
最期のフィルムが
鮮やかによみがえる!

君と生きたい。
 この呪われた世界を
 変えるために――。



DARK BLOOD

RIVER PHOENIX A FILM by GEORGE SLUIZER
 JUDY DAVIS JONATHAN PRYCE



ハリウッドの夫婦が
 砂漠で出会った
 美しくミステリアスな青年。
 世界の終わりを待ちわびる彼は
 天使かそれとも悪魔か――。



「スタンド・バイ・ミー」「マイ・プライベート・アイダホ」
 リヴァー・フェニックス幻の遺作

ダーク・ブラッド

2012 A Sluizer Films Production supported by the Netherlands Film Fund - director of photography Ed Lachman - production design Jan Roelofs & Ben Van Os - editor Michiel Reichwein - music Florencia Di Concilio & James Michael Taylor
 sound design Harold Javing - screenplay Jim Barion & George Sluizer - 1993 Scala Productions, Fine Line Features www.darkbloodthemovie.com - ©2013 sluzerfilms b.v.

監督:ジョルジュ・スライザー(「サ・バニング」・「消失」・「マイセン知影」) 出演:リヴァー・フェニックス、ジュディ・デイヴィス、Jonathan Pryce 撮影:エドワード・ラックマン プロダクションデザイン:ヤン・ロールフス、ベン・ヴァン・オス
 編集:マイケル・レイヒウイン 音楽:フロレンシア・ディ・コンチリオ、ジェームス・マイケル・テイラー サウンドデザイン:ハロルド・ギルベック 脚本:ジム・バートン、ジョルジュ・スライザー
 2012/アメリカ・イギリス・オランダ(英語/カラー/デジタルヴィスタ/86分/原題:Dark Blood 提供:カルチュア・パブリッシャーズ 配給・宣伝:マジックアワー ©2013 Sluizer Films BV www.dark-blood.com



没後20年を迎え、
不死鳥のように銀幕へ舞い戻った
伝説的スター俳優
リヴァー・フェニックス

『スタンド・バイ・ミー』『マイ・プライベート・アイダホ』など名作の数々で天性の輝きを放ち、
キアヌ・リーヴス、ジョニー・デップの良き友人で、レオナルド・ディカプリオが憧れた——
彼の最期のメッセージが、ついに日本劇場公開!!

23歳の若さでこの世を去ってから、騒りのある美しさと圧倒的な存在感、卓越した演技力で今なお世界中を魅了し続けている俳優、リヴァー・フェニックス。人気絶頂の最中にいた彼が、薬物中毒によりハリウッドの路上で倒れたのは1993年10月31日のこと。時代を象徴する青春スターのあまりにも早すぎる死は、全世界の人々に大きな悲しみと衝撃を与えた。この悲劇の直前まで撮影していた映画『ダーク・ブラッド』は、主役不在での完成は不可能とされ、長い間お蔵入りに。だが、映画の運命は再び動き出す。2007年末に大病を患い余命わずかだと宣告されたオランダの名匠ジョルジュ・シュルツァー監督は、キャリア最後の作品として本作の再開を決意。監督自らが奇跡的に保管していたフィルムの権利問題や未撮影シーンの再現など、さまざまな壁を乗り越えて2012年に完成した映画は、ちょうどリヴァーの没後20年となる2013年、ベルリン国際映画祭ほか世界各地の映画祭で喝采を浴び、改めてリヴァーの唯一無二の存在感を現代の観客に印象づけることになった。

誰も観たことのないリヴァーがここに!

新たに蘇った彼の魅力に私たちは心を揺り動かされ、また恋をする——。

アイドルから大人の俳優へと成長したリヴァー・フェニックスが、それまでのイメージを打ち破るダークで深遠な役柄に挑んだ意欲作『ダーク・ブラッド』。彼が演じるのは、妻を亡くして以来、砂漠の荒地にひとりて暮らす青年ボーイ。美しい人妻との出会いをきっかけに、理想の愛を求め、狂気と正気の狭間に堕ちていく姿を、他の作品では見せたことのない精悍で研ぎ澄まされた佇まいで体現している。さらに、ウディ・アレン監督作品の常連女優ジュディ・デイヴィス、『未来世紀ブラジル』のジョナサン・プライスといった名優二人との共演も見逃せない。そして、リヴァーの実人生を彷彿とさせるラストは、観る者に深い余韻を残す。ジェームス・ディーン、松田優作など若くして人生の幕を閉じたスター同様、リヴァー・フェニックスも永遠に輝く不滅の光としてスクリーンのなかに存在しているのだ。



リヴァー・フェニックス幻の遺作 **ダーク・ブラッド**

監督:ジョルジュ・シュルツァー『マイセン知影』『ザ・バビロン』
出演:リヴァー・フェニックス、ジュディ・デイヴィス、ジョナサン・プライス、ヘレン・マクローリン、カレン・ブランク
撮影:エドワード・ラックマン プロダクションデザイン:ヤン・ロールフス、ベン・ヴァン・オース 編集:マイケル・レイヒツェン 音楽:フロレンシア・デ・コンシリオ、ジェームス・マイケル・テイラー
サウンドデザイン:ハロルド・ヤルビング 脚本:ジム・バートン、ジョルジュ・シュルツァー 2012アメリカイギリスオランダ/英語/カラー/デジタル/ワイド/86分/
原題:Dark Blood/日本語字幕:佐藤恵子 提供:カルチュア・パブリッシャーズ 配給:宣伝:マジックアワー ©2013 Sluizer Films BV

www.dark-blood.com @darkblood_jp



リヴァーは、RIO(リオ/スペイン語で川の意)の愛称で親しまれていた。15歳で主演した『スタンド・バイ・ミー』(86)、ヴェネチア国際映画祭男優賞受賞の『マイ・プライベート・アイダホ』(91)の他に『新立もの時』(88)、『インディ・ジョーンズ/最後の聖戦』(89)など、23年の短い生涯のうち映画キャリア僅か9年で出演作は14本。彼の死は熱烈なファンが多かった日本でも凄まじいショックが走った。こくった場所であるLAのヴァイパー・ルーム前には今でもファンからの献花が絶えない。

